

OUSフォーラム2023 研究シーズ 出展リスト

| ステーション番号 | 展示テーマ | 出展者 | ※代表者=イタリック体・太字 ※発表者=氏名の文頭に○ |
|-------------------------|--|---|-----------------------------|
| A 化学・機能材料 | | | |
| A1 | 金属ポルフィリンダイマーに基づく電気化学的CO ₂ 還元触媒の開発 | 浦本大成、○坪田悠希、 溝身裕 | |
| A2 | イナミンを用いた多環芳香族アミンの自在合成と光学特性の調査 | ○ 奥田靖浩 、森まつり、松永夏旺、今田裕二、折田明浩、 岡山大学異分野基礎科学研究所 | |
| A3 | チオアルキンの位置および立体選択的な付加反応と生理活性物質の合成 | ○ 奥田靖浩 、今田裕二、松永夏旺、森まつり、松浦信康、折田明浩、 中国 湖南科技大学 | |
| A4 | ヘテロ原子置換エチレンスルホンの合成と脱離反応性の評価 | 渡部光、○酒見俊輝、猪原冴子、中島悠雅、 折田明浩 | |
| A5 | エチレンスルホンの脱スルホニル型アルキニル化による(Z)-エンジンの立体選択的合成 | ○赤木有太、山田隼輔、奥田靖浩、 折田明浩 | |
| A6 | 拡張バイ共役系を基盤とした機能性有機色素の創製 | ○ 岩永哲夫 | |
| A7 | フッ素化クロリン錯体を誘導体とする金(III)錯体の結晶構造 | ○中島の、 赤司治夫 | |
| A8 | DLC膜のラマンマッピングによる炭素結合のモデル化の提案 | ○福江紘幸、米澤健、 中谷達行 、 東京電子(株) 、 岡山県工業技術センター 、 ケニックス(株) | |
| A9 | 高周波HiPIMS法によるDLC膜物性の最適化 | ○有田聖一、玄馬宗治、福江紘幸、米澤健、清水一郎、 中谷達行 、 東京電子(株) 、 岡山県工業技術センター 、 ケニックス(株) | |
| A10 | 異形金ナノ粒子による可視光吸収・発光促進 | ○ 竹崎誠 | |
| A11 | 亜鉛ポルフィリン錯体に基づく可視光駆動型水素生成触媒の開発 | ○ 溝身裕 、大城実之、高井翔生、 鳥根大学 | |
| A12 | 古備前還元窯における内部温度の時間変化と焼成環境の推定 | ○ 島山唯達 、 備前焼平川忠工房 、 九州大学比較社会文化研究院 | |
| A13 | 希土類水素化物半導体YbH ₂ の基礎物性とこれをチャネル層に用いた薄膜トランジスタの開発 | ○ 中村修 、栗田満史、 九州大学 、 埼玉大学 、 東洋大学 | |
| A14 | 多波長-多光子分光法を利用した新規計測法の開発 | ○ 高橋広奈 、酒井誠、 愛媛大学 | |
| A15 | 磁気カプスターによる対流制御 | ○ 牧祥 | |
| B エレクトロニクス・AI・情報 | | | |
| B1 | ニューコンセプト 非接触給電 | ○赤津康仁、 石田弘樹 、(株)アドテックス | |
| B2 | モビリティ兼用小型お座敷シミュレータ | ○足立悠真、 赤木徹也 、趙菲菲、篠原隆、横田雅司 | |
| B3 | カメラ型可視光通信の高速化のための回転式LED送信機の開発 | 荒井伸太郎 、安井万貴、○尺田一輝、池田旭駿、難波右京 | |
| B4 | ドローン操縦者の姿勢モニタリングと見失防止デバイスの研究開発 | ○高谷健太、太田寛志、北川誠治、飯田涼太(千葉科学大学)、海老根雅人(千葉科学大学)、 クルモパレリー | |
| B5 | 無人機を併用した配送計画システムの開発 | ○井関智也、川本一輝、篠原凌、伊東駿、 片山謙吾 | |
| B6 | 前後輪二輪駆動電動バイクにおける運転支援システムの開発 | 横田雅司 、○丸野温司、檀上蓮 | |
| B7 | 過酷な動的環境を考慮した自律型移動ロボットの制御システムの開発 | 横田雅司 、○林佳平 | |
| B8 | モニタとプリンタ間の色補正システムの開発 | ○岡田凌、 上田千晶 | |
| B9 | MMSで取得した3Dデータの処理ツール群の開発 | ○ 島田英之 、(株)ウエスコ | |
| B10 | 防犯カメラ映像を用いた人の行動認識ソフトウェアの開発 | ○大塚翔、 久野弘明 | |
| B11 | ハンドトラッキングを用いたAR用UIの開発 | ○柏谷啓太、 藤谷淳 | |
| B12 | 効率的な生産スケジューリングシステムの開発 | ○伊東駿、福田翔希、井関智也、小田哲也、 片山謙吾 | |
| B13 | AIを用いた対話中の発話の影響度の推定 | ○大西朔永、 権名広光 、保森智彦 | |
| B14 | Transformerモデルを用いた四半期報告書による企業分析 | ○真原、大西朔永、 権名広光 | |
| C 金属・ものづくり | | | |
| C1 | 軸受鋼の転動疲労寿命に及ぼすグリースの影響 | ○河本匠、池田尚大、 藤正憲 、 日本グリース(株) | |
| C2 | コンピュータ解析を援用したステントセル形状の最適設計 | ○岡本凌、 清水一郎 、(株)日本医療機器技研 | |
| C3 | シミュレーション解析援用による管端塑性加工法の最適化 | ○三宅侖奈、 清水一郎 、(株)塚伸銅所 | |
| C4 | Cuショット粒を用いた熱間ショットピーニングによる傾斜機能材料の開発 | ○仙波尚起、 竹村明洋 、三宅大暉、寺野元規、篠原隆 | |
| C5 | 各加工開始温度からの熱間ショットピーニングにおける表面状態の確認 | ○小林志温、王楊昆、 竹村明洋 、寺野元規、篠原隆 | |
| C6 | 超高分解能で流体中の蛍光物質濃度を計測する手法 | ○ 岩野耕治 | |
| C7 | CAE解析による前方押出要素を含んだ後方押出鍛造の検討 | ○田淵世射、 寺野元規 、清水一郎 | |
| C8 | CAE解析を用いたヒンジ部品製造における素材形状の検討 | ○武本拓也、 寺野元規 、(株)實陽技研 | |
| C9 | パニング加工による傾斜機能材料の開発口~局所的結晶粒微細化法の検討~ | ○難波太覚、中尾蒼以、中藤領、 寺野元規 、竹村明洋、篠原隆 | |
| C10 | 蛍光微粒子を用いた瞬時2次元ガス温度分布計測法の開発検討 | 近藤千尋 、村上和真、○大角悦央、河合紘希 | |
| C11 | マニピュレータの運動方程式における慣性行列の正定値性と可操作性ととの相関 | ○生田悠斗、 吉田浩治 、衣笠哲也、林良太 | |
| C12 | 陸上探索型レスキューロボットの試作 | 藤本真作 、○西山長佑、岩崎貴弘 | |
| C13 | 水圧を利用した電源不要な非常用駆動源の開発 | ○吉田隆斗、 小林亘 、横田雅司 | |
| C14 | マストライバ型水上移動ロボットの開発 | ○跡上大稀、 小林亘 、横田雅司 | |
| D バイオテクノロジー | | | |
| D1 | 交流高電圧プラズマを用いた医療用チューブの超親水性とゼータ電位の制御 | ○高畑直矢、今井裕一、福江紘幸、 中谷達行 、 ストロープ(株) 、 岡山県工業技術センター | |
| D2 | 生体吸収性ステント評価用in-vitro還流系試験装置の開発 | ○龍谷明希、 清水一郎 、佐藤匠、(株)日本医療機器技研 | |
| D3 | 酸化作用と糖化作用に及ぼすpHの影響 | ○安藝誠人、 安藤秀哉 | |
| D4 | さくら花酵母の分離から雄町米純米酒「桜華」の開発まで | ○ 滝澤昇 、 室町酒造(株) | |
| D5 | 野生酵母によるワイン醸造とその解析 | ○北岡純美、 金子明裕 、 嘉美心酒造(株) | |
| D6 | 極限環境微生物由来プロテアーゼの産業利用 | ○ 古賀雄一 、横山竜也、 サラヤ(株) 、 NEDO 、 Green Earth Institute(株) | |
| D7 | 真皮線維芽細胞の食能に関する研究 | ○吉崎海斗、 安藤秀哉 | |
| D8 | 共培養法を用いたメラニン生成抑制剤の評価 | ○小林桃子、 安藤秀哉 | |
| D9 | 関節構造を模倣した培養構造体の作製に向けた組織工学的基礎検討 | ○藤本真作、唐振宇、 岩井良輔 | |
| D10 | 筋細胞と腱細胞の凝集力の違いを活かした組織作製 | ○吉鶴歩実、藤原深、米田大珠、伊豆弥生、 岩井良輔 | |
| E 医療・獣医 | | | |
| E1 | 脈管リモデリングの可能性を探る | ○浜田直輝、 向田昌司 、水野理介、尾崎博 | |
| E2 | 血管内皮障害の分子治療標的の探索 | ○石川峻介、 向田昌司 、水野理介、尾崎博 | |
| E3 | 腸内細菌の変化と血管内皮機能の検討~リン脂質に着目して~ | ○須賀光、 向田昌司 、水野理介、尾崎博 | |
| E4 | 血管収縮障害の分子治療標的の探索 | ○清水寧乃、進藤美紀、田嶋弘貴、森北奈佑、向田昌司、水野理介、 尾崎博 | |
| E5 | 腸内細菌の変化による血管障害機序の検討 | ○澤島智樹、海堀美樹、向田昌司、水野理介、 尾崎博 | |
| E6 | 非侵襲的手法を用いたコウモリ保有微生物の調査 | 新納亮太、中本敦、嶺田龍星、○ 渡辺俊平 | |
| E7 | フロー式イムノセンサによる炎症マーカー定量法の開発 | ○ 畑明寿 、藤谷登、(株)シーズテック | |
| E8 | 犬の慢性弁膜症の診断・治療方法の確立 | ○ 杉本佳介 | |
| E9 | NPPVマスク用自動フィッティングシステムの開発 一超小型空圧センサの製作一 | ○浅原佳江、 趙菲菲 、迫田悠生、池上諒 | |
| E10 | 褥瘡防止や移乗用の空気圧駆動アクティブマットレスの試作 | ○ 趙菲菲 、赤木徹也、瀧口寛子、田原姫七、和田迅斗 | |
| E11 | アキレス腱修復メカニズムの解明 | ○ 伊豆弥生 、藤原深、米田大珠、藤田望、外園耀基、李天鎬 | |
| E12 | ヒストンH2AのO-GlcNAc修飾系によるトリプルネガティブ乳がん(TNBC)の増殖機構の解明 | ○鶴野耀子、 早川晃司 | |
| E13 | 臨床での使用を想定した随意的表面筋電位の発生を促すリハビリ訓練システム | ○若宮大河、田辺敦司、田邊颯人、 林良太 、衣笠哲也、吉田浩治 | |
| E14 | 伊予柑果皮抽出液を含むイヌ外用剤の開発 | ○因藤奏子、大西貴子、佐伯香織、 松田彬 、 愛媛県産業技術研究所 、(株)アイテック | |
| E15 | 新学術領域、獣医療工学・獣医療福祉工学の創生に向けた社会実装型動物関連デバイス | 赤木徹也、久野弘明、趙菲菲、横田雅司、古本佳代、佐伯香織、久枝啓一、朱夏希、○ 江藤真澄 、西岡伶一、蔦承峻、三木英資、可 | |
| F 環境・地球・宇宙 | | | |
| F1 | 気象情報を利用した濃霧による交通規制のAI予測 | ○鈴木由樹、 大橋唯太 、(株)ウェザーニューズ | |
| F2 | UV-LEDによる各種微生物の不活化 一流水型UV-LED照射微生物不活化装置の開発一 | ○宓翌、 猶原順 、井上大知、大原諒真、張揚、向井彩純、張瀚中、 千代田工販(株) | |
| F3 | 特殊染色法を応用した脊椎動物化石の組織学的研究 | ○ 辻極秀次 、千葉謙太郎、實吉玄貴、稲葉勇人、村上凱星、佐々木馨人、 岡山大学自然科学生命科学研究支援センター | |
| F4 | 恐竜研究を中心とした新たな本学研究シーズの確立 | ○ 豊田新 、石垣忍、高橋亮雄、島山唯達、衣笠哲也、押谷潤、名取真人、青木一勝、林昭次、佐藤友彦、 モンゴル科学アカデミー古生物研究所 | |
| F5 | 海底熱水性重晶石の放射非平衡-ESR年代測定 | ○角本美優、 豊田新 、 神戸大学海洋底探査センター 、(株)蒜山地質年代学研究所 | |
| F6 | 最終氷期から完新世にかけての風送塵起源の変動 | ○岡田夏蓮、鶴田彩音、 豊田新 、 奈良女子大学 | |
| F7 | シミュレーションデータを利用した地球近傍の暗黒物質密度の評価 | ○中林祐帆、 長尾桂子 、 鈴鹿工業高等専門学校 | |
| G 教育・地域貢献 | | | |
| G1 | 学生参加型ゴビ砂漠フィールドワークの実践と本学恐竜学博物館教育への展開 | ○ 石垣忍 、豊田新、林昭次、山下浩之、實吉玄貴、市川美和、高橋亮雄、千葉謙太郎、名取真人、辻極秀次、衣笠哲也、押谷潤、佐藤友彦、 モンゴル科学アカデミー古生物研究所 | |
| G2 | オノマトペを活用した表現技能指導 | ○ 妻藤純子 、笹井香 | |
| G3 | 中学校数学「数と式」と「関数」領域で扱われる離散量と連続量の教科書分析 | ○森川真文、 福田博人 | |
| G4 | 数学教育における文化に焦点を当てた折り紙の教育的意義について | ○花房和輝、 福田博人 | |
| G5 | 国内外の調査から見る日本の児童生徒の算数・数学に対する見方の変遷 | ○浅越天真、 福田博人 | |
| G6 | プログラミング的思考力を高めるにはどんな学びがよいか | ○ 高橋信幸 | |
| G7 | 教育・研究機関としての工作センターの取組み | ○ 藤原隆 、寺野元規、露無正治、亀山寛司 | |
| G8 | 愛媛県の農畜水産物を用いたイタリア料理フェアの展開 in 東京 | ○ 深瀬徹 、中村有加里、(株)ひらまつ、 愛媛県 | |
| G9 | 愛媛県砥部町の特産品としての砥部焼の新たな可能性の探索 | ○ 中村有加里 、深瀬徹、 陶房くるみ | |
| G10 | 地域事業者主導の販促イベントにおける地域経済への波及効果の分析手法の確立 | ○ 高橋良平 、小淵奈留、柏田慎也、門田覚、小谷凌也、小橋陽向、 嘉美心酒造(株) | |
| G11 | アジア・南太平洋地域におけるペランダコロン建築の起源と発展に関する比較研究 | 江面嗣人 、八百板季穂、○吉原亮、黒田有花、岡本怜也 | |
| G12 | 真庭市勝山の都市形成市に関する研究 | ○黒田有花、岡本怜也、蓮池一真、 八百板季穂 、江面嗣人 | |
| G13 | 研究・社会連携機構 総合機器センターのご紹介 | ○櫻井詠司、船本利春、藤原俊明、 山田真路 | |

